

見島小中学校だより



2019年 新春のお慶びを申し上げます！

～本年も見島小中学校をどうぞよろしくお祈いします～

穏やかな天候のもと、2019年（平成31年）が幕を開けました。保護者の皆様、地域の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新しい年を迎えましたが、学校ではまだ平成30年度が続いており、まとめの学期である3学期が今日スタートしました。1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」というように3学期は短く感じられる学期ですが、次年度につなげるととても大切な仕上げの時期だと言うことができます。

新しい学習指導要領が、小学校は2020年度、中学校は2021年度に全面実施となります。現高校1年生の学年から大学入試の試験自体が大きく様変わりします。アメリカのデューク大学のキャシー・デビドッソンの研究によると現



アメリカの中学生が大学を卒業し、職に就く時には、65%以上の者が現在、存在していない職業に就くであろうと予測しています。日本にも同様のことが言えると思います。本校が先駆けて行っているコミュニケーション能力や表現力の育成は、未来を切り拓く大きな力となるでしょう。

新しい時代を生き抜くための賢い人になってもらうために、見島小中学校の教職員一同、行事など様々な教育活動を通して保護者の皆様や地域の皆様と一緒に大切な児童生徒を育て参ります。

皆様と共に児童生徒の成長を確かめ、喜び合えるよう力を尽くしますので、本年も、一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

1月の行事予定

8日（火）始業式・凧揚げ大会 給食開始

9日（水）職員会議

 中学部3年習熟度テスト

 2年冬休み明けテスト

11日（金）参観日 書き初め展

14日（月）成人の日

15日（火）避難訓練（不審者）

16日（水）校内研修会

17日（木）17の日

18日（金）スクールカウンセラー来校

22日（火）租税教室

24日（木）ふれあいの日

 ALT来校（～25日）

 複式授業訪問

 校納金集金日

3学期始業式！

校長講話から……

こんな話を聞いたことがあります。
ある男がヨーロッパからオーストラリアに移住してきました。男はオーストラリアには年中花が咲いているのに、ミツバチをあまり見ないのに気づきました。ここでミツバチを飼えばどんどん蜂蜜（はちみつ）がとれ大もうけができるに違いないと思ったのです。そう思った男は、ヨーロッパから最良種のミツバチを取り寄せました。はじめの1～2年は大成功でした。どんどん蜜がとれました。しかし、そのうち、蜂は全く蜜を作らなくなったのです。さてどうしてでしょうか？その訳は、年中花があるからです。蜂にしてみれば、限られた時期にしか花が咲かないからこそ、その時期にせっせと蜜を集め花のない冬に備えるのです。それが、年中花があるなら、わざわざ蜜を蓄える必要がないのです。欲しくなったら飛んでいっていつでも花の蜜を吸えばいいのです。男の計画は大失敗に終わりました。

花がなくては蜜ができない。花は多い方が良く。しかし、年中花があるのが良いかどうか分かりません。私たち人間の場合はどうでしょうか。今の世の中、豊かすぎて、日常において不自由なこともほとんどありません。手を伸ばせばいつでも花がある生活が今を生きる人にどのような影響を及ぼすのでしょうか？果たして1年中花があることが良いことなのか、考えてみたいものですね。

児童生徒の年頭の所感……

始業式で今年頑張りたいことを一人ひとり発表しました。勉強を頑張りたい、部活動に力を入れたい、家のお手伝いをしたい……等々、大変素晴らしい発表でした。作文したものを校舎入り口に掲示していますので、11日（金）の参観日の時にでも御覧ください。



おにようず～天高く舞い上がりました！～

年末におにようずを作成しました。講師に多田一馬先生をお迎えし、3回にわたって丁寧な御指導をいただきました。

1月8日（火）3学期の始業式の後、凧揚げ大会を行いました。今年1年、おにようずのようにみんな元気で健やかに舞い上がって欲しいと思います。

